

第8回大阪市コミュニティ合唱祭

2018年9月24日に旭区民センターにおいて、10組の混声合唱団参加による第8回大阪市コミュニティ合唱祭が開催されました。我が団は第1部トップバッターで登場し、混声合唱のための組曲『旅』より「かごのつて」、「行こうふたたび」、歌劇『ナブッコ』より「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」を演奏し、第2部合同合唱では中塚昌昭先生指揮のもと『貴志康一合唱曲集Ⅱ』より「天の原」、「かごかき」、「赤いかんざし」、「つばくら」、「力車」を演奏しました。これらの曲にはソロパートが効果的に配置され、今回の演奏では鹿岡先生ならびに各区民合唱団の団員さん達がソロパートを歌われました。

第3部といわれている懇親会では、各合唱団の余興が演じられ、楽しいひとときでした。ひら混は恒例の「河内音頭」で、他団の方達と一緒に踊り大変盛り上がりました。この会をいつもお世話して頂いている「旭区リリオ合唱団」の皆様にご挨拶いたします。



【豆知識】貴志康一先生は大阪（1909年生）のご出身で、日本クラシック音楽の草分け的存在です。ドイツへ留学し、ベルリンフィル巨匠のフルトヴェングラーのもとで指揮者・作曲家としての才能を開花させましたが、残念なことに28歳で死去されました。1949年湯川秀樹博士のノーベル物理学賞受賞後の晩餐会の時に、貴志先生作曲の「竹取物語」が演奏されました。

今後のコンサート日程

- ひら混ジョイ・コーラス 6月2日（日） クレオ大阪南
- 大阪市コミュニティ合唱祭 9月23日（月・祝） 鶴見区民センター
- クリスマスコンサート 12月15日（日） 昼開演 時間未定） コミュニティプラザ平野

今年のジョイ・コーラスの曲目（選曲委員会）

団員がもっと自信をもって楽しく歌え、過去に歌ったことがある曲目を中心に選択しました。現在決まっている曲目は以下の通りです。

混声合唱：源田俊一郎編曲「ふるさとの四季」唱歌メドレーより全曲

新選混声合唱名曲集より 大木惇夫作詞・佐藤真作曲「大地讃頌」

G.F.ヘンデル作曲メサイアより「Hallelujah」

男声合唱：田中達也合唱編曲「ゴダイゴメドレー」

皆で歌おうコーナー：横原敬之作詞/作曲・田中和音編曲「世界にひとつだけの花」

6月のジョイ・コーラスは新年号になってから初めてのコンサートになります。平均年齢は毎年アップの「ひらの混声合唱団」ですが、今度のジョイ・コーラスは暗譜できそうな曲を選んでいきますので暗譜にチャレンジしませんか。暗譜のコツを調べてみました。基本中の基本は何度も聴く、歌うですが、一番大切なのは、①その曲をホントに好きになること、②歌詞の内容をイメージとしてとらえること、③歌詞をコピーし移動中などで見ることなどです。「今日何を食べたかも忘れるのに暗譜なんかできるか」とおっしゃる皆さん方、一度①～③を試してみませんか！

（編集後記は紙面の都合により省略します。後藤・萩原・難波）



広報 No.37

2019年2月

新春号



ニューイヤーコンサート 「第九」 2019年1月16日 コミュニティプラザ平野

新春号に寄せて

団長 大森利治



皆さん、平成最後の“寒中お見舞いを申し上げます。”

昨年末から巷間ではインフルエンザの猛威が喧伝されていますが、毎週の練習に励んでおられる皆さんにはインフルエンザとは無縁の様に感じられます。暑い日、寒い日、雨の日を休み無く練習に励んでおられるお陰で、自然に抵抗力が身に付いているのではと思っております。

さて、1月16日のニューイヤーコンサートの手応えは如何でしたか。皆さんの日頃の精進に加えて、会場の改装もあり、歌声の響きが従来にもましてお客様の耳に届いたようですね。喜ばしいことです。お客様からは、言葉は分からなかったけれど、よく耳にするメロデーだから曲に乗れたとの感想が多かったようです。私達にとっては挑戦し甲斐のある曲だっただけに、今後の選曲の参考になるのではないのでしょうか。平成最後の正月に、改装なったホールでの最初で最後のニューイヤーコンサート、記憶に残るコンサートとなりました。

1年先の話になりますが、我が団が「平野第九合唱団」として産声をあげ、6年目から「ひらの混声合唱団」と名を変えながら今日まで活動を続け、来年は創立20年を迎えます。過ぎ去った20年という年月は、ただ思い出を辿るだけでよいでしょう。しかし、これからの20年は素晴らしい思い出を残す為の努力を強いられる20年であらねばなりません。その起点となる来年を団員の増強、そして皆さんのレベルアップを図れるような周年記念コンサートを志して参りませんか。ついては、皆様方のあつと驚くようなご提案をお待ちしております。それでは今年もよろしくお願ひ申し上げます。



オペラ特集 ♪ 乾杯の歌 ♪ 行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って ♪ 誰も寝てはならぬ ♪ 狩人の合唱 ♪ 婚礼の合唱

新年の余韻が漂う1月16日(水)にコミュニティプラザ平野に於いてニューイヤーコンサートを開催しました。昨年7月から12月までホール天井の耐震工事がありましたので、12月のクリスマスコンサートではなく、1月の開催となりました。クリスマスコンサートとは違った雰囲気のあるコンサートとなり、お客様の評判も上々でした。開演に先立ちご挨拶いただきました大阪市平野区コミュニティ協会平野区支部協議会の豊田幸一会長・稲嶺一夫平野区長をはじめ、助成・共催・協賛いただきました団体やお世話になりました皆様、賛助出演いただきました皆様に感謝いたします。



お客様アンケート (坂野事務局長の集計より抜粋)

♪ なじみのある曲ばかりでとても楽しく聴かせて頂きました。指揮者コーナーはおもしろかったです。第九も歌ばかりでなくオーケストラの方々にもスポットが当たっていて、今まで聴いていたものとは違った趣向でよかったです。鹿岡さんと高津さんがすぐそばまで来て歌って下さり、びっくりでしたが嬉しかったです。とても素敵な夜でした。良い年になりそうです。本当にありがとうございました。

♪ オペラの歌は知っている歌が多くて楽しめました。生オーケストラの伴奏で歌えて、この合唱団の方は幸せだなあ、と思いました。

♪ 体育館から音楽ホールのように音も聴きやすくなった。全部知っている曲なので楽しかった。コンサートの印象ではないが、トイレを洋式にして欲しい。

♪ 新年らしく明るい曲が多くて良かった。皆が知っている曲は聴いても楽しい。ニューイヤーコンサートなので、ラデツキー行進曲も聴きたかったです。鹿岡さんのソロもすごく良かったです。

♪ 毎年続けて欲しい。小学生の孫たちにも生の演奏を聴かせてやりたい。そのため、開催日時は休日の午後2時を希望します。



新春懇親会

恒例の新春懇親会を1月23日(水)に開催しました。会場において先生方にニューイヤーコンサートのご感想を頂きました。

鹿岡晃紀先生

皆さんお疲れさまでした。

自分自身が喉の調子が万全ではなかったので、納得のいく演奏ができませんでした。しかし今回皆さんが体調管理に注意されて、コンサートに臨まれたのは素晴らしいです。演奏後のお客様の感想も大変好評でした。歌っているときに気をつけてもらいたいのは、楽譜の持ち方です。楽譜に向かって歌っている方が多く思います。口から出る声の導線を作ってあげ、お客さんと自分の中に楽譜を挟まない。そうすることによって顔も上がります。暗譜で歌ったアンコールの「乾杯の歌」は、ホール後ろの方でも声の鳴りが違ったようです。

6月のコンサートではなるべく暗譜で歌えるようにしましょう。楽しいことにはしんどいことがついて回ります。これから先のコンサートで「本当に楽しかった」と言えるように日々の練習頑張ってくださいと思います。私も今年は自分にとっても勝負の1年だと思っていて、いろいろチャレンジしていこうかと思っています。皆さん、いろいろチャレンジしていきましょう。

竹村美和子先生

皆さん本当にお疲れさまでした。クリスマスコンサートとは雰囲気も違っていました。難しい曲も歌われて、皆さんよく頑張られていました。私自身、急遽1部の曲の中で舞台袖にてピアノを弾くことになりまして、客席から全体を見ることはできませんでした。しかし当日のみのオーケストラとの音合わせで、ついていけている皆さんの力は正直凄いと思います。第九も良かったです。エキストラの力も大きいですが、心配の箇所が年々少なくなってきたのは確かです。ホールの後ろまでしっかり歌が聴こえていました。

この先「私達楽しく暗譜で歌っていきたい。」や「もうちょっと練習していきたい。」という声を望んでおります。何か一つでも目標を作っていたら、少しずつ成長していただければいいなと思います。

私達指導者も日々成長していかなければいけませんので、わかりにくいところなどどんどんお声を聞かせてください。今年1年またよろしくお祈りします。



オープニングソング「早春賦」を全員で歌い、団長、平野区民ホール館長瀬崎様のご挨拶。続いて東副団長による乾杯で始まった会食は、大変美味しく皆さん満足でした。その後のアトラクションは写真でお楽しみください。進行役の坂野さん、お買物や準備等、お世話いただいた皆様ありがとうございました。



(敬称略)

萩原洋子 後藤輝正

♪ 早春賦



中澤清

♪ 雪が降る、メヌエット



藤本仰子 田辺あゆみ

♪ ハナミズキ、笑点のテーマ



岡本洋子 浅野由利子 中澤勝司

ビンゴゲーム